



Liberal Arts and Sciences

KOBE COLLEGE

Founded 1875

NEWS LETTER

NO.4

神戸女学院大学 公認心理師カリキュラム「心理実習」Aクラス

武庫愛の園幼稚園での学外実習



尼崎市にある認定こども園武庫愛の園幼稚園にて学外実習を行いました。武庫愛の園幼稚園は建学の精神から「以愛為園(愛をもって園となす)」とし、愛の園幼稚園と命名、そして「**より良い社会と 幸福な人生の創り手となるしなやかな子どもを育てる**」を教育目標としている幼稚園です。

第二次世界大戦で焦土化した尼崎市からの要請により、「復興は教育、特に幼児教育に有り」という信念から、難波

愛の園幼稚園、続いて、姉妹園の立花愛の園幼稚園、その後武庫愛の園幼稚園が設立されました。武庫愛の園幼稚園には、1歳児から5歳児までの子ども達が在籍しています。園の先生方は、子ども達が遊びや生活の中で**主体的に生きることや、友だちを価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働することなどを教育方針として子ども達の成長を時には見守り、時にはサポート**されているようです。

濱名潔先生と福谷先生のお話

濱名先生から、「ゲームをしましょう。」ということで、保育に関するクイズを体験しました。まさか実習の最初にゲームをするとは思いませんでしたので驚きましたが、ゲーム後の「**遊びを通して学ぶ**という1つの体験をしていただいた。」という先生のお言葉から、幼稚園教育の核心に触れた気がしました。思い切り楽しめている中で、自分の知らないうちに学ぶことが出来ている経験を大人になって体

験できました。とても貴重な時間でした。

また、福谷先生から子ども**一人一人と向き合うこと**が大切であることも学びました。集団を意識することよりも、1対1でしっかり向き合うことで子どもは、大人がちゃんと自分を見てくれていると安心し、その安心から子ども達全体に声をかけたときに話を聴いてくれるなどして、力を発揮します。



保育には**地域との関わり**が重要であることも学びました。子ども達が、朝から夕方まで過ごしている幼稚園で、ご近所との騒音トラブルなどに発展しないようにするには、**地域の皆さんの理解や協力が必要不可欠**になってきます。近年では新型コロナウイルスの影響で、地域、特にご高齢の方々とは関わりが薄くなっているようですが、以前は子ども達が地域のお店の見学に行ったり、敬老参観のようなものが行われていたようです。

保育における心理職のニーズについてもお話していただきました。保育者によってニーズは様々ですが、**第三者的視点**から保育を見つめることは、保育者にとって新たな視点になり「気づき」に繋がります。保育のプロである先生方が、頭では理解していても上手いかなかったり、プライドが邪魔をして相談できなかったりしたときに、心理職と一緒に考えたり、気付きやキッカケを与えたりすることが助けになるのではないかと考えました。**何を意識してどう関わっていくのかを私たちは考える必要がある**と思います。

① 施設について

実際に子どもたちが園内で過ごしている様子を見学させていただきました。2歳児の部屋を見学した際には、わらべうたを歌っていました。皆の輪に入っていない子が何人かおり、先生方はそのことを否定するのではなく、**受け入れる姿勢、待ちの姿勢、見守る姿勢**を徹底し、とても暖かい空気でした。わらべうたの力もあって、そのような子ども名前を呼ばれるとその場で反応できていました。このような肯定的な**環境や**



経験が子どもの成長に大切であることを学びました。3歳児の部屋では、自由遊びを行っていて、友だちと遊ぶ環境づくりのためにあえて**3つの遊び**に絞っているという工夫がみられました。5歳児や4歳児の部屋では、子どもたちが**自ら考えられるような声掛け**の工夫が先生方からみられました。



編集後記

大変お忙しい中、ご講義いただきました武庫愛の園幼稚園の濱名先生、福谷先生、また、園見学の際に快く迎え入れてくださった先生方、園児の皆さんに心より感謝申し上げます。

作成：三浦
写真撮影：岡松

2023年6月13日(火)